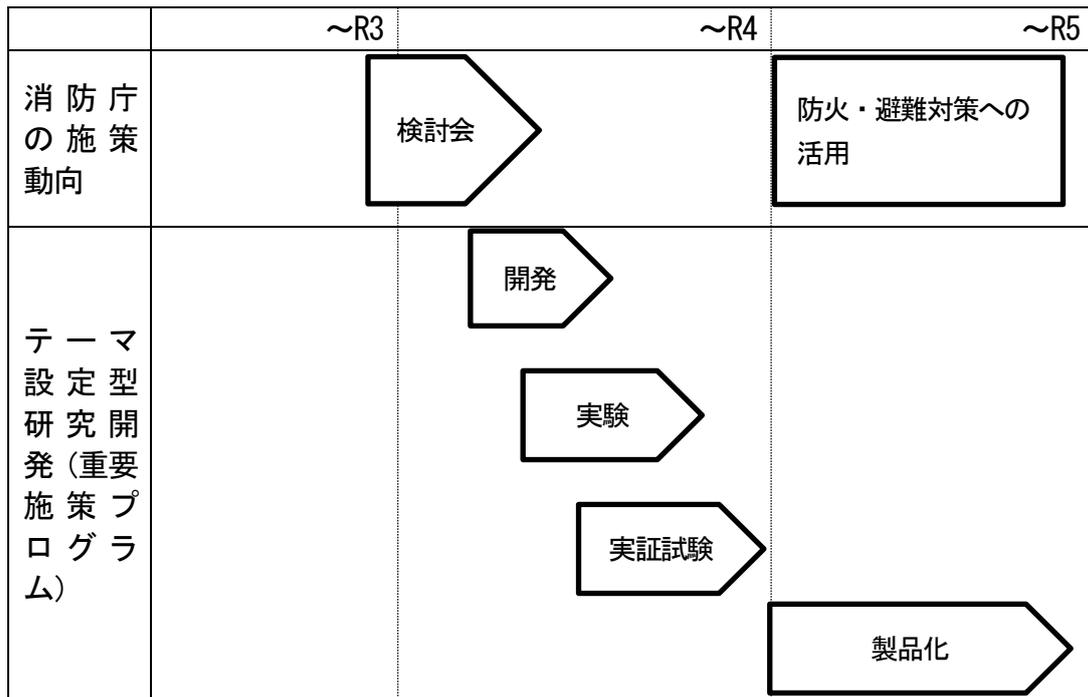


## 重要施策プログラムで対象とする技術の詳細及び目標とする成果達成時期

(分野名) 予防	
(テーマ名) ガソリン火災対策に資する資機材等の開発	
背景等	<p>令和3年12月17日に大阪市北区において多数の死傷者を伴うビル火災が発生したことから、消防庁では、「大阪市北区ビル火災を踏まえた今後の防火・避難対策等に関する検討会」を立ち上げ、今後取り組むべき防火・避難対策等について検討している。</p> <p>このような状況の中、今回のようなガソリン等による火災が発生した際に、被害を軽減することができる製品の技術開発が求められている。</p> <p><b>【研究開発課題の例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガソリン火災を消火できるマット</li> <li>○ ガソリンの着火を防止できるブランケット</li> <li>○ 複数人が容易に同時避難できる器具 等</li> </ul>
必要とする成果内容と目標期限	<p>次の①～③の資機材等の開発を研究対象とする。</p> <p>申請者は①～③のうち、1つ以上に該当する研究課題を提案すること。</p> <p>① ガソリン火災の消火又は抑制に資する資機材等 想定する火災性状・規模に対する消火能力、資機材等の操作性（操作距離、操作スピード）、消火薬剤の人体安全性を具体的に検討し、資機材等として開発する。また、有効性の確認実験を行うとともに、有効性が確認されたらその結果を踏まえ、実用化に向けた実証試験を行う。</p> <p>② 散布されたガソリンの着火防止資機材等 可燃性蒸気の遮断、静電気除去、散布されたガソリンの被覆等による着火防止について具体的な方法を検討し、資機材等として開発する。また、有効性の確認実験を行うとともに、有効性が確認されたらその結果を踏まえ、実用化に向けた実証試験を行う。</p> <p>③ その他の資機材等 ガソリン火災で想定させる避難等の状況を考慮し、操作性（操作スピード等）について具体的に検討の上、資機材等として開発する。また、有効性の確認実験を行うとともに、有効性が確認されたらその結果を踏まえ、実用化に向けた実証試験を行う。</p>
成果活用方針	「大阪市北区ビル火災を踏まえた今後の防火・避難対策等に関する検討会」における検討結果を踏まえ、防火・避難対策への活用を図る。

〔ロードマップ〕



※ ロードマップは消防防災科学技術研究推進制度の公募にあたり、申請者の参考となるよう示すものです。社会ニーズや行政課題の変化に応じて変更する可能性があるものであり、今後の予定を保証するものではありません。